

市民協働調査・分析WG(WG-3)の活動紹介

(特非) 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (SLIM Japan)

副理事長 鈴木 泉

協働推進部門では、産官学民一層の連携強化を推進するため、行政や地方自治体、建設業界、NPO など市民団体との協働を地域社会における市民主体の社会づくりとして進めている。具体的には、自治体インフラメンテ研究会からなる3つのワーキンググループ「WG-1 市民理解推進」「WG-2 協働コーディネート」「WG-3 市民協働調査・分析」の組織でそれぞれ活動している。

今回は、「市民協働調査・分析WG(WG-3)」の活動を紹介します。ワーキングとしては、WG全体の目標である「日常的に市民と行政が協働でインフラメンテナンスに係わっている」を主軸とし、「インフラメンテナンスの事例や社会実験から、新しい効率的な仕組みがつくられ、全国の自治体で採用され効果を上げている」状態を目指し活動している。(図-1)

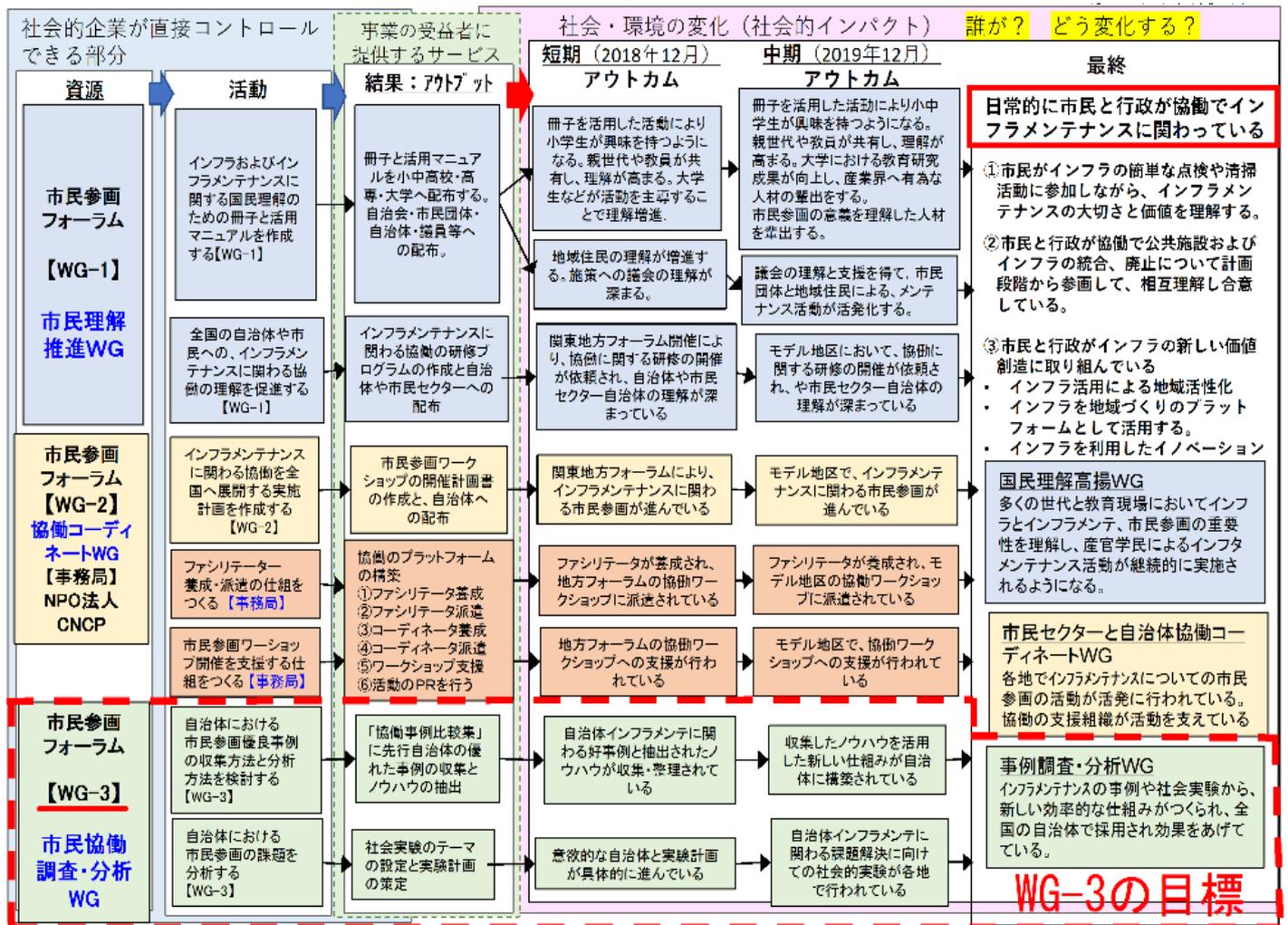


図-1 3つのWGの目標設定 (ロジックモデル)